

令和4年度 全国学力・学習状況調査結果の概要について

帯広市立愛国小学校

4月19日（火）に全国の小学校6年生児童を対象に実施されました標記調査の結果が、本校にも届きました。今年度は国語、算数、理科の3教科と児童質問紙による実施でした。

帯広市全体の正答率は、国語・算数・理科ともに全国平均を下回る結果となりました。全国・全道の平均正答率との差を比較すると、昨年度より差が縮まりました。

本校の結果については、調査を受けた児童が2名と少ない人数であることから、各問題の結果をそのまま本校の傾向としていくことは難しいと考えます。したがって、結果の分析を踏まえて今後、以下の2点について取り組んでまいります。

- ①今後も日々の教育活動を通して、児童一人一人のよさや課題を明らかにし、個々の学力向上に役立てていきます。
- ②共通して確認できる結果については、学校全体のものとし、よさの積み上げや課題解決に向けた具体的な授業改善を行います。

～本校の結果概要～

「国語科」

- 「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「書くこと」を得意としている傾向が見られました。「書くこと」については、本校の課題となっていました。書いて説明する活動に力を入れた校内研究に取り組んできた成果が表れています。「我が国の言語文化に関する事項」には苦手さが見られました。

「算数科」

- 「変化と関係」に関する問題は比較的得意としている傾向が見られました。「データの活用」に関する問題には苦手さが見られました。選択式や短答式の問題に比べ、記述式の問題について課題としている傾向が今年度も見られました。

「理科」

- 「エネルギー」を柱とする領域を比較的得意としている傾向が見られました。「地球」を柱とする領域、「粒子」を柱とする領域に関する問題には苦手さが見られました。選択式の問題に比べ、短答式や記述式の問題について課題としている傾向が見られました。

「児童質問紙より」

- 「自分で計画を立てて勉強している」という回答が多い一方、学校の授業時間以外の学習時間が短い傾向が見られました。「将来の夢や目標を持っている」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」という回答が多い傾向が見られました。

～今後の授業改善・改善方策などについて～

(1) ユニバーサルデザイン化の視点で、一人一人に応じた指導方法の工夫改善を図ります。

- ①見通し(課題)・振り返り・確認(まとめ・定着)を重視した(焦点化)、「わかる」授業を展開します。
- ②「1校1実践」として、自分の思いや考えを記述し、説明する力を高める取組を実施します。
 - ア 自分の考えを発表する場や自分の考えを記述してから説明する場面を設定します。
 - イ 小学生新聞を活用し、要約する力を高める取組を実施します。(3年生以上)
 - ウ 北海道チャレンジテストや標準学力調査等の結果を分析し、指導に生かします。
- ③各種教材教具、ICT機器、タブレット端末等を効果的に活用します。

(2) 家庭と連携し、家庭学習習慣の確立を図ります。

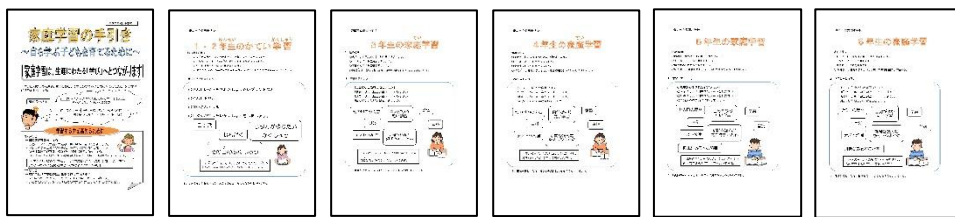
①家庭での学習習慣

授業時間以外に1日当たり、1～2年生は20分、3年生以上は学年×10分を目安とします。

②家庭学習

「家庭学習の手引き」を活用して家庭との連携を深め、家庭での学習の充実を図ります。

愛国小学校「家庭学習の手引き」



(3) 小中一貫教育やコミュニティー・スクール等、帯広第七中学校区として、エリア内の学校や地域と連携した指導の充実を図ります。

①目指す子ども像

帯広第七中学校区で目指す子ども像を共有し、アクションプランに戻づいた指導を共通して行います。

②学びの約束

小中一貫教育の取組として「学びの約束」について重点項目を設定して指導していきます。

愛国小学校「学びの約束」

学習の約束	学びの約束	学びの約束
1. 学習の約束	1. 学びの約束	1. 学びの約束
2. 学習の約束	2. 学びの約束	2. 学びの約束
3. 学習の約束	3. 学びの約束	3. 学びの約束
4. 学習の約束	4. 学びの約束	4. 学びの約束
5. 学習の約束	5. 学びの約束	5. 学びの約束
6. 学習の約束	6. 学びの約束	6. 学びの約束

※○は今年度の帯広第七中学校区重点目標です。

(4) その他

- 計画的な朝学習、朝読書を継続します。
- 必要に応じた補充学習を実施します。